

音楽サービス創造学科

Music service and creation

音楽業界や楽器に関わる、最前端の知識・技術を幅広く探究。めざす進路や適性に合わせて専攻分野を選択できます。



SCAN ME

山口 智 学科長

石田 好野さん



本学科は、音楽・楽器に関する知識を広く得られる授業が充実しています。劇場やコンサートホールを訪れ、実際に鑑賞することも。新たなスキルをどんどん吸収できる環境があり、多様な領域から共通点を見つけて応用できるのも面白さです。吹奏楽部で演奏をしていた、バンド活動をしていたなど、それまで触れてきた音楽や楽器が異なる学生が同じ教室で学び、お互いに刺激を受け合って自らの適性を見い出すことができます。そこから専門性を高めることができます。

3年間の
学びの特徴

最先端の知識・技術を総合的(ピアノ・管打弦・電子・舞台企画・制作など)に学び、自らの専攻分野を選択できます。

総合的な学びで就職先を広げていけるよう3年制学科に設定。ピアノ調律・整調技術、管楽器やギター、バイオリンのリペア・販売技術、電子楽器の学び、舞台技術など、約1年半で、業界が求める水準を効率的に習得。残りの期間で、自らの専攻(ピアノ、管打、舞台・ギター)を選択し、希望就職分野に適した専門性を高めます。

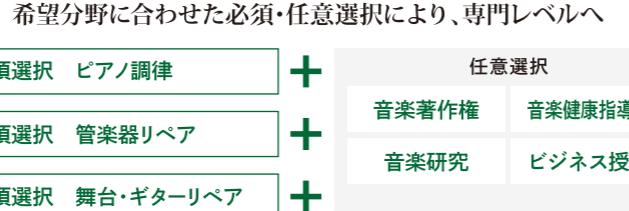
学びの流れ

1年次～2年次前期

楽器店などで求められる知識・技術レベルへ



2年次後期～3年次



特徴ある授業

1年次～2年次前期

- 鍵盤・管・弦楽器の構造を理解し、基本的な修理・調整を習得。
- 打楽器や民族楽器、電子楽器などについても網羅的に学習。
- クラシックからロックまでさまざまな曲を聴き、音楽教養を備える。
- 演奏会の裏方技術として、舞台設営や音響PAの操作を学習。
- 学生主体で企画・運営し、コンサートを制作。

■1年次

9:05～10:35	10:50～12:20	13:10～14:40	14:55～16:25
舞台音響技術I	管楽器I	音楽概論I	小物楽器

■2年次前期

9:05～10:35	10:50～12:20	13:10～14:40	14:55～16:25
コンサート制作I	電子楽器	鍵盤楽器II	バイオリンII



音楽概論



管楽器リペア



バイオリンリペア



コンサート制作



舞台技術



ギターリペア

2年次後期～3年次

- 「必須選択」コースで適性・希望に沿った専門技術を習得。
- 「任意選択」から追求したい学問、将来に役立つスキルを学ぶ。

必須選択	ピアノ調律 管楽器リペア 舞台・ギターリペア	任意選択	音楽研究 音楽著作権 など コンサート制作II	音楽健康指導士
------	------------------------------	------	----------------------------------	---------

9:05～10:35	10:50～12:20	13:10～14:40	14:55～16:25
必須選択授業		コンサート制作II (任意選択)	音楽著作権 (任意選択)

主な実技科目

各科目	1年次	2年次前期
鍵盤楽器	・アップライトピアノの外装、アクションの脱着、構造の理解 ・調律(中音のユニゾン合わせ)、アップライトピアノの簡単な調整、修理	・グランドピアノの外装、アクションの脱着、構造の理解、張弦修理 ・調律(広い範囲のユニゾン合わせ)、アップライトピアノの簡単な調整
管楽器	・木管楽器のメンテナンス、キイの分解・組み立て ・金管楽器のメンテナンス	・木管楽器のキイの分解・組み立て(レベルアップ) ・クラリネットのコルク交換
ギター	・アコースティック・ギターの素材と構造を理解 ・各パートの調整、チューニング、メンテナンス基礎	・エレキギターの構造理解、電気系統の基本理解 ・各種調整理論、各種クリーニング
舞台・音響技術	・舞台幕取り扱い、マイクスタンド取扱い、ローブワーク ・舞台尺貫法、台組技術、ケーブル取扱い	・舞台上の音響学、音響調整卓基礎、各種機材の取り扱い ・システムチューニング基礎
バイオリン	・バイオリンの構造の理解、セットアップの理解 ・その他刃物の扱い、工具製作など	・バイオリンの修理方法、メンテナンスの理解 ・弓交換、毛替え作業の理解

選択コース

選択コース	2年次後期～3年次
ピアノ調律	・アップライトピアノの1台仕上げ(4Hz変更100分)、アップライトピアノの整調(全行程) ・張弦修理及びアクション部品の修理
管楽器リペア	・クラリネット、フルート、サクソフォーンのコルク交換・タンボ交換・バランス調整 ・はんだ溶接、凹み直し、抜差管調整、ピストン調整、ローター調整、トロンボーンスライド調整
舞台・ギターリペア	・システムチューニング、サウンドミキシング、デジタル音響作業(基礎)、音響技術中級レベル ・ギターの構造理解、各部調整、すり合わせ、フレット交換、ナット交換、電気配線、塗装修理、ピックガード制作

*主な教養科目:音楽概論、音楽産業論、打楽器、電子楽器などの楽器知識、コンサート制作、リテールマーケティング、ビジネスコミュニケーションなど

資格取得

『舞台機器調整技能士』と『ピアノ調律技能士』
国家技能検定の資格取得をめざせます。

劇場やコンサート会場、ライブハウスで音響などの舞台機器の調整を行うことができる「舞台機器調整技能士」と、ピアノ全般に関する知識や技能、実務能力などを備えた「ピアノ調律技能士」の取得をめざし、各有資格者である講師陣がバックアップ。学科および実技試験対策を徹底指導しており、高い合格率を維持しています。

□ 舞台機器調整技能士(国) ※舞台・ギターリペアを選択した者
□ ピアノ調律技能士(国) ※ピアノ調律を選択した者

就職分野

ピアノ調律師や管楽器リペアマン、ギター・バイオリン技術者、舞台企画・制作者など多彩な活躍の場があります。

ピアノや管打楽器、ギター、バイオリン、電子楽器などの知識・技術を活かして、楽器メーカーや楽器商社、楽器店、楽器工房など、全国各地で活躍できます。加えて、舞台(企画・制作)、音響、イベントスタッフ、コンサートプロモーターなど、年々、音楽サービス分野でも活躍できるフィールドが広がっています。

□ ピアノ調律師
□ 管楽器リペアマン
□ ギター・バイオリン技術者
□ 楽器販売スタッフ
□ 楽器アドバイザー
□ コンサートプロモーター・スタッフ
□ 舞台音響
□ ベースギタリスト
□ イベントプランナー・スタッフ
□ ブライダルスタッフ
□ 楽譜出版社
□ 音楽雑誌記者・編集者
□ 音楽の権利関係
□ DVD制作
□ など

ピアノ調律科

Piano tuning

ピアノ調律・整調・修理の技術を
体系的に習得。

音楽教養を備えながら、
「ピアノ調律技能士」の資格取得を
めざせます。



SCAN ME



丸山光 学科長

調律師はやりがいの大きい仕事。演奏者から「弾きやすい」「きれいな音になった」となどの言葉をいただけると本当に嬉しい気持ちになります。モチベーションを持続するには、「調律師になりたい」だけでなく「調律師になって何がしたいのか」まで具体的に目標を描けると良いでしょう。本学科の普段の学習では、実技試験を頻繁に実施。習熟度の把握によって効率的に練習を進めます。また、学習効果を上げるためにITツールも積極的に導入しています。

服部 姫奈さん



憧れのピアニストの専属調律師になることが、私の夢。世界の一流ピアニストのコンサートチューナーとして活躍する卒業生を輩出しているこの学科に魅力を感じました。「職業実践専門課程」認定校であり、企業との相互協力で人材を育成していることも入学の決め手に。授業では、調律・整調・修理技術のほか、楽器のルーツや作曲家など、幅広い知識を学べます。防音の個別実習室で集中して個人練習もできるため、日々成長を感じられています。

2年間の 学びの特徴

調律・整調・修理の技術を段階的に習得。
さらに、音楽教養を備えた調律師へと高みをめざします。

90分間2回取り調律ができるよう、現場環境を踏まえた個別実習室で何度も訓練し、音程を整える技術を習得。グランドピアノの一定レベルの整調技術（鍵盤の微妙なタッチ調整）、鍵盤割れや断線の修理技術、部分塗装の技術も習得します。さらに、ピアニストなどの理解を深め、音楽文化についての教養を備えていきます。

学びの流れ

1年次

国家検定「ピアノ調律技能士」3級受検レベルへ

アップライトピアノ基礎

調律 音と音の干涉によって発生する「鳴り」を聞き分け平均律音階を正しく作る作業です。

整調

1鍵約70個から成る打弦機構（アクション）を一つひとつ正しく動作するようにタッチを交換作業です。断線や塗装補修も行います。

修理

使用や経年変化により演奏に耐えなくなった部品の交換作業です。断線や塗装補修も行います。

2年次

国家検定「ピアノ調律技能士」3級合格（および2級受検）レベルへ

アップライトピアノ応用

総合実践力

1年次に学んだそれぞれの作業を、現場のさまざまな状態のピアノに合わせて総合的に実践する訓練。

グランドピアノ基礎

調律

整調

修理

特徴ある授業

1年次

- アップライトピアノ調律に必要な基礎技術を習得。
- 徹底的な反復練習で調律のスピード・正確性を高める。
- 鍵盤のタッチを揃えるための整調技術を習得。
- 中古ピアノの流通により需要の高まる修理技術を習得。
- 楽器全般の基礎知識、業界のビジネス知識も学習。

9:05~10:35	10:50~12:20	13:10~14:40	14:55~16:25
アップライトピアノ 調律	アップライトピアノ 整調	アップライトピアノ 修理	アップライトピアノ整調



アップライトピアノ整調



アップライトピアノ断線修理

2年次

- 1年次に得た知識・技術を土台に、グランドピアノの調律技術を習得。
- グランドピアノの部品の役割を理解し、整調技術を習得。
- 業界で即戦力として対応できるよう修理技術を習得。
- 作曲家や歴史背景など音楽文化の教養を身につける。

9:05~10:35	10:50~12:20	13:10~14:40	14:55~16:25
グランドピアノ調律	グランドピアノ整調	国際音楽情報知識	グランドピアノジャック調整



国際音楽情報知識(校外学習など)

主な実技科目

各科目	1年次	2年次
アップライトピアノ調律(基礎)	ユニゾン、オクターブ、割振、検査音程などの基礎技術	
アップライトピアノ調律(粗調)	大幅なピッチ変更時の2回取りにおける見込み調律	
アップライトピアノ調律(4Hz変更1台仕上げ)	120分以内での4Hz変更技術	90分以内での4Hz変更技術 4Hz変更1台仕上げの精度の向上 2Hz変更1台仕上げの精度の向上
グランドピアノ調律		同Hz1台仕上げ
アップライトピアノ整調	部品の役割、動きを理解 準備工程、本工程の整調	整調1台仕上げ 整調1台仕上げの精度の向上
ピアノ修理	弦、センターピン、ブッシングクロス、鍵盤上面など各部品の交換 (単体での交換方法)	1台修理を中心とした作業 (再生に必要な部品の全交換)
総合実践力		校外での総合的な調律実習 品質管理を踏まえた修理実習 技能検定学科試験対策 実技試験対策

※主な教養科目:国際音楽情報知識、音楽美学、楽器知識、ビジネスコミュニケーション など

資格取得

□ ピアノ調律技能士(国)

ピアノ調律技能士

厚生労働大臣から認可された、ピアノの調律に関する技能を証明する技能士資格。資格区分は1~3級に分かれ、学科試験と実技試験があります。



国家検定「ピアノ調律技能士」の試験に向け、1級技能士の教員が指導にあたります。

就職分野

楽器店所属の調律師やコンサートチューナー、メーカーや修理工房での技術者などもめざせます。

調律師として楽器店に所属したり、メーカー、調律事務所、修理工房など、全国各地で活躍できます。また、嘱託調律師としてフリーで活躍したり、独立して工房を設立したりすることもめざせます。卒業生の中には、本校の紹介で海外就職を果たし、世界の一流ピアニストのコンサートチューナーとして活躍している方もいます。

- ピアノ調律師
- 製造スタッフ
- 販売スタッフ
- 修理スタッフ
- コンサートチューナー
- など

管楽器リペア科

Wind instrument Repair

段階的カリキュラムで、
木管・金管楽器のリペア技術を着実に育成。
管楽器研究科への進学も
サポートします。



田近 真臣 学科長

本学科では、細かな調整や部品交換などのリペア技術全般を身につけます。教材には、学校と業界関係者が共同で制作したオリジナルテキストを使用。楽器の構造や仕組み、調整方法を基礎から学び、さらには検品力や納期意識を高められるように修理精度を磨いていきます。クラス担任制なので、不安があればマンツーマンでの指導も可能です。また、第一線で活躍する講師陣を迎える、業界の最新情報や経験談など貴重なお話を聞ける機会も設けています。



SCAN ME

渡邊 寿々里さん

学校選びで重視したポイントは、就職率の高さや学びの充実度。授業時間数が多く、卒業後には全国各地でのUターン・Iターン就職もめざせることから入学を決めました。現在の吹奏楽経験人口は約400万人ともいわれ、プレーヤーを支えていくリペアマンは必要不可欠な存在。管楽器の内部構造に興味のある人、分解組み立てなど細かな作業が好きな人にはおすすめです。実技の授業では一人ずつに楽器が用意されるため、じっくり作業に取り組めます。

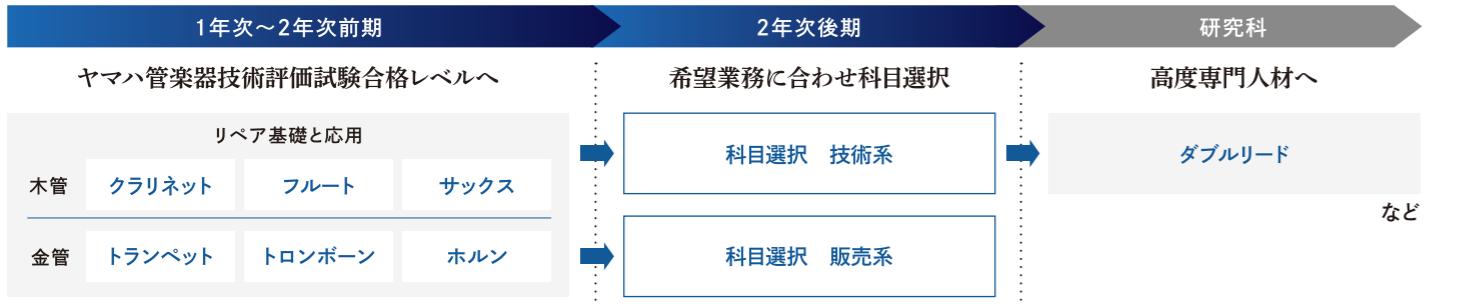


2年間の 学びの特徴

段階的カリキュラムで、効率的にリペア技術を習得。
ダブルリードなどを学べる管楽器研究科もめざせます。

成熟した管楽器市場で、多様なユーザーに対応できる学びへと発展。1年間で、木管・金管楽器の技術を徹底的に学び、業界が求める技術水準まで引き上げていきます。そして、2年次後期から、希望業務内容に適した科目選択(技術系・販売系)をしていきます。加えて、在学中にヤマハ管楽器技術評価試験の受験をめざせます。

学びの流れ



特徴ある授業

1年次～2年次前期

- 基礎技術にて、工具加工・ヤスリかけ・溶接を学習。
- 木管楽器 3種FL・CL・Saxの修理・調整技術を習得。
- 金管楽器 3種Hr・Tp・Tbの修理・調整技術を習得。
- 音楽の理論や演奏方法をもとに、指導者へのサポート方法を学習。
- 1年次に得た、修理・調整技術のレベルアップを図る。
- 木管楽器の演奏lessonにより、楽器の試奏力を身につける。



2年次後期

- 希望業務に合わせた科目選択が可能。
- 技術系選択
 - 2年前期までの修理・調整技術の応用とレベルアップを図る。
 - 実務を想定し、検品・見積り・修理の流れも学習。
- 販売系選択
 - 2年前期までの技術の定着を図る。
 - 音楽関連商品の商品知識や取り扱いを学習。
 - 打楽器の演習を含め、メンテナンスのスキルを習得。



研究科

- これまでの学習内容に加え、Ob・Fgの調整技術を習得。
- Fl・Cl・Sax・Picc.Flのタンボ交換とバランス調整のレベルアップを図る。
- Hr・Tp・Tb・Euph・Tuの実践的な修理を習得。
- 将来の独立を見据え、ビジネスの基礎を学習。



主な実技科目

各科目	1年次～2年次前期	2年次後期
クラリネット	・メンテナンス、基本的なタンボ交換・バランス調整	・タンボ交換、バランス調整などのレベルアップ
フルート	・メンテナンス、基本的なタンボ交換・バランス調整	・ヘッドコルク交換、ノックピン交換 ・タンボ交換、バランス調整などのレベルアップ
サックス	・メンテナンス、基本的なタンボ交換・バランス調整	・タンボ交換、バランス調整などのレベルアップ
木管総合修理	・キの動作不良や折れ、管体の割れなど総合的に修理	・現場を想定した検品・見積りと修理
トランペット トロンボーン ホルン	・基本的なメンテナンス、分解・組み立て ・ハンダの取り扱い、金管楽器の溶接 ・スライド調整 ・ロータリー調整 ・ピストン調整	・管体の凹出し、抜差し管調整

※主な教養科目:吹奏楽総合研究、楽器構成論、商品知識、ビジネスコミュニケーションなど

資格取得

- ヤマハ管楽器技術評価試験(技術系選択者) 営業力強化検定(販売系選択者)

ヤマハ管楽器技術評価試験(技術系選択者で、選抜された者)

ヤマハ特約楽器店技術者が対象の管楽器リペアグレードの実技技能試験と同内容で、技術評価にチャレンジできます。評価の内容によっては、有効な技術力の証明になります。

営業力強化検定(販売系選択者)

営業担当者として営業活動を行う際に必要な基本知識の体系的・網羅的な理解度、日々の営業活動や顧客サポート活動の中で基本知識を実践し、活用できる力が認定されます。

就職分野

楽器店でリペア担当、
メーカーや修理工房での技術者、
特殊楽器を学ぶ管楽器研究科もめざせます。

楽器店でリペア担当として各学校の吹奏楽部などを訪問。メーカーでの開発スタッフや修理工房での専属リペア技術者、楽器商社での出荷調整など、全国各地で活躍できます。一方で、本科2年間のリペア技術の更なる向上とダブルリード楽器などのリペア技術を少数精銳で学べる管楽器研究科への進学もめざせます。

- 製造スタッフ
 楽器商社マン
 販売スタッフ
 リペアスタッフ
など